

平成 30 年度 6 月補正予算の概要

子ども医療費助成事業を拡充・地震対策に緊急対応

今回の補正予算（第1号）では、子育て支援の推進を図るため、子ども医療費助成制度の対象年齢を拡充しました。また、耐震補強工事を推進するために新制度を創設しました。

さらに、補正予算（第2号）では6月18日に発生した大阪北部地震でブロック塀が倒壊した事故を受け、ブロック塀等への緊急対応を行うため追加予算を計上しました。

■平成30年度一般会計補正予算

補正額 補正予算（第1号）45,488千円+補正予算（第2号）33,600千円=79,088千円

補正後の予算額 47,139,088千円

| | | |
|---------|-----------|--|
| 主な補正の内容 | 補正予算(第1号) | ①子ども医療助成事業費増 25,340千円増 (468,740千円→494,080千円) 子ども医療費助成制度の対象年齢を高校生相当まで拡充 |
| | 補正予算(第1号) | ②木造住宅耐震補強事業費補助金増 ... 10,250千円増 (119,900千円→130,150千円) 木造住宅の補強設計及び耐震改修を総合的に支援する新しい補助制度を創設 |
| | 補正予算(第2号) | ③営繕指導費修理費追加 16,000千円 大淵幼稚園・つくしなかよし広場、大東支所等のブロック塀を改修 |
| | 補正予算(第2号) | ④小学校施設補修費増 5,000千円増 (38,600千円→43,600千円) 第二小学校、東山口小学校のブロック塀の改修 |
| | 補正予算(第2号) | ⑤ブロック塀等耐震改修事業費補助金増 4,800千円増 (1,700千円→6,500千円) ブロック塀等耐震改修事業費補助金の補助率や限度額などの制度を拡充 |

常任委員会 委員長報告 (抜粋)

平成30年度補正予算関係議案などを審査するため、6月27日に3つの常任委員会に付託され、以下のような質疑がありました。

総務委員会委員長報告

委員長 二村 禮一

地方税の電子化について

Q 法人市民税の電子申告が義務化された場合、市でも電子申告の受け入れ体制を新たに整備する必要があるのか。

A 電子申告については、既に実施しているため、新たに整備する必要はない。

さんりーな天井落下防止工事請負契約の締結

Q 工事が始まると、使用にはどのような制限が出るのか。

A 以下の期間、各施設が使用禁止となる。
・アリーナ (H30.10.16～H31.2.13) ・武道場 (H30.7.17～10.12) ・エントランス※ (H30.7.30～10.1) ・プール (H30.12.4～H31.2.28)

※工事中も通路を設けるので、通行可能

環境産業委員会委員長報告

委員長 小沼 秀朗

木造住宅耐震補助制度について

Q 「木造住宅耐震補強事業費補助制度」を「木造住宅補強計画一体型工事費補助制度」に変更することで工事件数は増加すると思うか。

A 工事をすることが大事。今まで補強計画で終わっていたものも、制度導入により工事につながり件数は増えると思う。

大坂・土方工業用地整備事業について

Q 造成工事を行う際、必ず発掘調査を行うのか。

A 必ず調査を行うものではない。今回、教育委員会に確認をしたところ、古墳や戦国時代の砦跡等が存在している可能性が高いエリアのため、発掘調査業務委託を計上した。

文教厚生委員会委員長報告

委員長 松本 均

子ども医療助成事業費について

Q 近隣市町の状況について伺う。

A 磐田市、袋井市、菊川市、御前崎市が同様に市の単独事業として実施している。